

◆ 目黒区 ◆

中小企業の景況

平成29年度第3・四半期
(平成29年10~12月)



目 次

1. 都内中小企業の景況	1
2. 目黒区内中小企業の景況（平成 29 年 10～12 月期）	2
(1) 今期の特徴点	2
(2) 今期の景況と来期の見通し	4
製造業	4
卸売業	8
小売業	11
サービス業	14
建設業	17
(3) 調査員のコメント	20
3. 日銀短観／東京都と目黒区の企業倒産動向（平成 29 年 12 月）	23
4. 特別調査「2018 年（平成 30 年）の経営見通し」	26
5. 中小企業景況調査 比較表・転記表	28

調査の概要

1. 調査時期 平成 29 年 10 月～12 月期（四半期毎実施）
2. 調査方法 面接聴取調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	84	83
卸 売 業	27	27
小 売 業	45	43
サ ー ビ ス 業	54	53
建 設 業	35	35
合 計	245	241

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

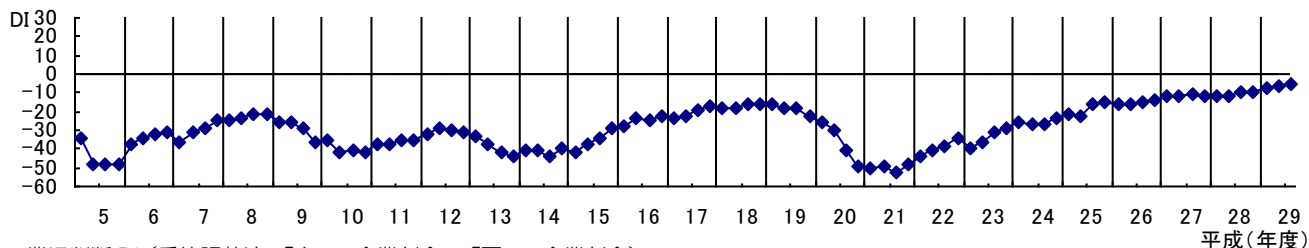
分析実施機関 株式会社東京商工リサーチ

1. 都内中小企業の景況（平成29年10～12月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

建設業・不動産業は好調感が続く。～来期は製造業・卸売業で明るさが見える～

都内中小企業景況・6業種合計DI



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-5.6（前期は-6.4）と前期に比べ0.8ポイント改善した。業種別に見ると、建設業・不動産業でやや好調感が強まり、製造業で水面下ながらわずかに改善した。

来期は、製造業・卸売業で明るさが見えると予想している。

	前	期	今	期	増	減	来	期	予想	今	期との増減
製造業	-6.0	-4.5	-4.5	1.5	-2.2	2.3					
卸売業	-6.6	-6.7	-0.1	-2.9	3.8						
小売業	-21.2	-22.2	-1.0	-21.3	0.9						
サービス	-5.2	-5.3	-0.1	-4.1	1.2						
建設業	11.6	13.3	1.7	14.7	1.4						
不動産業	4.1	8.0	3.9	9.0	1.0						
総	-6.4	-5.6	0.8	-3.8	1.8						

<製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益ともに水面下ながらわずかに改善した。受注残は前期同様の水準が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格はわずかに上昇が強まった。

業種別に見ると、「精密機械」はやや良化し、「プラスチック」は前期同様の好調感が続き、「輸送用機械」「電気機械」はわずかに前期を下回った。「建設用金属」「一般機械」は大幅にプラスに転じ、「プレス・めっき」は若干好転、「化学工業」は前期同様変化がなかった。「食品」は水面下ながら大きく持ち直し、「ゴム製品」は大きく悪化に転じ、「金属製品」「印刷関連」は水面下ながら多少改善した。「紙・紙加工品」は前期同様の厳しさが続き、「繊維・衣服」「皮革関連」「木材・家具」は幾分深刻さを増した。

来期の業況は明るさが見えると予想している。売上額・受注残は増加に転じ、収益は今期同様の水準で推移すると予想している。

<卸売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は水面下ながらわずかに改善した。価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格はわずかに上昇が強まった。

業種別では、「機械器具」は多少好調感が強まり、「鉱物・金属材料」は大きく好転した。「建築材料」は水面下ながらかなり上向き、「食品・飲食品」はわずかに厳しさが和らいだ。「化学製品」は前期同様の厳しさが続き、「繊維・衣服」は幾分深刻さを増した。

来期の業況は水面下ながら持ち直すかと予想している。売上額・収益は増加に転じるとみている。

<小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益も前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格はやや上昇傾向を強めた。

業種別では、「スポーツ用品・玩具」「家具・建具・じゅう器」は水面下ながら大きく持ち直し、「自転車・自動車」「書籍・文房具」はやや厳しさが和らいだ。「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」「繊維・衣服・身の回り品」は前期同様の厳しさが続き、「医薬品・化粧品」「飲食店」「飲食品」は幾分厳しさを増し、「カメラ、時計・眼鏡」は大幅に深刻さを増した。

来期の業況は、今期同様の厳しさが続くかと予想している。売上額・収益は水面下ながら持ち直すかとみている。

<サービス業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく推移し、収益は前期並の減少が続いた。価格面では、料金価格はわずかにプラスに転じ、材料価格は前期並の上昇が続いた。

業種別に見ると、「情報サービス・調査・広告」はわずかに悪化に転じ、「自動車整備・駐車場」「洗濯・理容・美容」は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くかとみている。売上額・収益は水面下ながら持ち直すかと予想している。

<建設業>

業況は前期並の好調感が続いた。売上額はやや強含み、受注残・施工高・収益は前期同様の増加が続いた。価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇が強まった。

業種別に見ると、「総合工事」「設備工事」はわずかに好調感が強まり、「職別工事」はやや前期を下回った。

来期の業況は今期を上回ると予想している。売上額・受注残・施工高・収益は今期同様の増加が続くとみている。

<不動産業>

業況はやや好調感が強まった。売上額・収益は幾分堅調に推移した。価格面では、販売価格はかなり上昇傾向を強め、仕入価格はやや上昇が強まった。業種別に見ると、「建売・土地売買」は前期並の好調感が続き、「不動産代理・仲介」はやや良化した。

来期の業況は、今期並の好調感が続くかとみている。売上額・収益は今期同様の増加が続くと予想している。

[注]

○D.I (Diffusion Index ディフュージョン インデックス の略)

D.I (ディーアイ) は増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差し引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○ (季調済) D.I・・・本調査における D.I は季調済 D.I を使用しています。

季調済とは、期ごとに季節的な変動を繰り返す D.I を過去 5 年間まで遡って季節的な変動を除去して加工した D.I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種 (例えば小売業) ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。